



——次の40年に向けた展望と、めざす社会像を教えてください。

現代はインフラ整備だけでは付加価値の創出が難しい時代です。グローバル市場で戦うには、半導体やソフトウェアなどを含めた事業の多角化を図る必要があります。

ただし、大事なのは利益追求だけではありません。NTTには「社会の安定と豊かさを守る」というDNAが、公社時代を含めた80年以上もの長きにわたり脈々と受け継がれています。戦後復興期、電話が急速に普及した背景には、「早く、安全につながる」という機能以上に、「心の豊かさ」や「社会の安定」を求めたいという人々の本質的な渴望があります。これは、ロボットやAIが共生する未来社会においても変わりません。技術が進化しても、人間が幸せや充実感を感じられる社会基盤を、NTTならば築けると確信しています。

NTTは単なる通信事業者から、社会の安定と豊かさを支える価値提供者へと進化し、その価値を世界へ広げています。この精神は、形を変えながら次の時代にも続いていくはずです。

——最後に、若手社員へのメッセージをお願いします。

「自分はこれでいい」「言われたことさえやればいい」と思っていると、全てがつまらなく感じてしまうでしょう。できればワークインライフ（仕事は人生の一部）を意識して、好奇心を持って取り組みれば結果的に仕事もうまくいき、他の人とも楽しみを共有できると思います。

若い人にお伝えしたいのは、与えられるのではなく、与える側に回る努力をすること。そして、自分が幸せでなければ相手を幸せにすることはできないということです。とはいえ、幸せになるために現状を打破したいと思っても、「感情」「相手」「過去」の3つはなかなか変えられません。その場合は、相手ではなく自分の考え方や捉え方、過去ではなく未来を変えるように努めると、違う景色が見えるはずですよ。

変えられないものではなく、変えられるものを変える。そうやって自分を保全しながら、より良い価値を追求してほしいと願っています。